

## 事業年度

1月1日～12月31日

## 期末配当金受領株主確定日

12月31日

## 中間配当金受領株主確定日

6月30日

## 定時株主総会

毎年3月

## 株主名簿管理人、特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

## 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒183 - 0044 東京都府中市日鋼町1-1  
お問合せ先：0120-232-711

## 上場証券取引所

東京証券取引所JASDAQ市場

## 公告の方法

電子公告により行う

公告掲載URL <https://www.convum.co.jp>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

## ご注意

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内



当社では、ホームページにてIR情報をはじめとして、企業情報を随時更新しております。ぜひご覧ください。

株式会社 **妙徳**  
**Myotoku Ltd.**

〒146-0092 東京都大田区下丸子2丁目6番18号  
TEL 03-3759-1491 (代表)



株式会社 **妙徳**  
**Myotoku Ltd.**

証券コード TSE：6265



Convum Opens up New Value chain as an Useful Method

# 第68期 事業報告書

2018年1月1日～2018年12月31日

※当社バルーンハンドによるレモンの吸着イメージ

人を大切にし、創造性豊かなアイデアと顧客ニーズの融合により  
豊かな価値を作り出し、社会貢献に努めます。

妙徳グループ



企業理念

- お客様を大事にする
- 最適な労働環境の整備を通じて従業員一人一人が安心して働ける職場作り
- 各人のアイデアと顧客ニーズの融合による開発をモットーとする
- 他社との提携を推進し、これにより得られた利益は分け合う
- ガラス張りの経営
- 職場内のコミュニケーション(報・連・相)の重視
- 仲間同士が信頼しあう職場作り

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第68期（2018年1月1日～2018年12月31日）の事業概況を謹んでご報告いたします。



「コンバム・パッドNo.1」をスローガンに、  
魅力ある製品づくりを通じて、社会から信頼される企業、  
継続的な企業成長を目指してまいります。

代表取締役社長 伊勢 幸右

**Q1** 第68期の業績についてご説明ください。

第68期の連結売上高については2,752百万円（前年同期比105.3%）となりました。国内市場においては、各種半導体及び電子部品の需要拡大を背景に、関連設備の増産及びメンテナンス需要が堅調に推移しておりましたが、期の後半は減速基調となりました。一方、各種生産設備の自動化の流れに対応した製品開発と営業活動に取り組んだ結果、売上高は1,906百万円（同106.1%）となりました。

海外については、韓国市場では、大手半導体、フラットパネルディスプレイ業界の設備投資に大きな波があり、不安定な状況ではありましたが、業界に

特化した新製品の積極投入と、一般産業機械業界への裾野拡大を行い、売上高は483百万円（同102.2%）となりました。中国市場では、貿易摩擦問題による設備投資の大幅な縮小の影響を受け、売上高は194百万円（同86.3%）となりました。その他では、東南アジア市場については、タイ国を中心に周辺諸国の電子部品関連設備の需要増と、自動車関連設備への製品投入を積極的に行いました。また、米国市場では、既存販売店へのサービスの強化と新規顧客開拓を行いました。その結果、売上高は167百万円（同141.0%）となりました。利益面については、連結経常利益は423百万円（同91.8%）、親会社株主に帰属する当期純利益は310百万円（同102.6%）となりました。

**Q2** 今期の見通しと、主な取り組みについてお聞かせください。

2019年12月期の連結業績予想は、連結売上高2,716百万円、連結経常利益444百万円、親会社株主に帰属する当期純利益301百万円を見込んでおります。これらの目標を達成するため、以下の取り組みを実施してまいります。

営業、開発面においては、引き続き人員を増員するとともに、人材教育にも力を入れて体制の強化を図ってまいります。グループ全体で、主力販売業界のニーズに合わせた新製品を投入すると同時に、オンリーワン製品の開発をモットーに製品の差別化を図り、シェア率拡大を目指します。また、ロボット需要が高まる中、ロボットハンド（ロボットの手と

なる部分）の開発を推進するとともに、ロボットメーカーとの協力体制を構築し、関連展示会への積極出展及び拡販活動を行ってまいります。また、主力製品の基礎研究の強化と同時に、IoT等の市場要求に対応した製品の開発を実施してまいります。国内市場から当社海外現地法人を活用したグローバルな展開を仕掛けて、中期的には、海外売上高比率50%を目標に売上拡大を図ります。

製造面においては、設備投資を積極的に行い、製造効率の改善、システムを活用した納期対応力の強化を継続し、価格競争力の強化と顧客満足度の向上を目指します。また、技術や技能の継承のために教育体制の強化、海外生産の拡大にも取り組む中、品質管理体制の強化にも努めてまいります。

ては、中間配当金を1株あたり5円00銭、期末配当金を1株あたり30円00銭（年間配当金は、株式併合前に換算すると11円00銭、株式併合後に換算すると55円00銭）とさせていただくことといたしましたので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆さまのご期待に沿えるよう、経営目標達成のために全力を挙げて取り組んでまいりますので、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。


**Q3** 最後に株主の皆さまへメッセージをお願いいたします。

妙徳グループは、株主の皆さまならびにステークホルダーの方々のご期待に応えるため、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。そのためにはメーカーとしての根幹である、新製品開発と市場投入を積極的に推し進めていきます。


株主の皆さまへの利益配分につきましては、業績に応じた株主還元を基本方針とし、連結配当性向25%を目標としております。

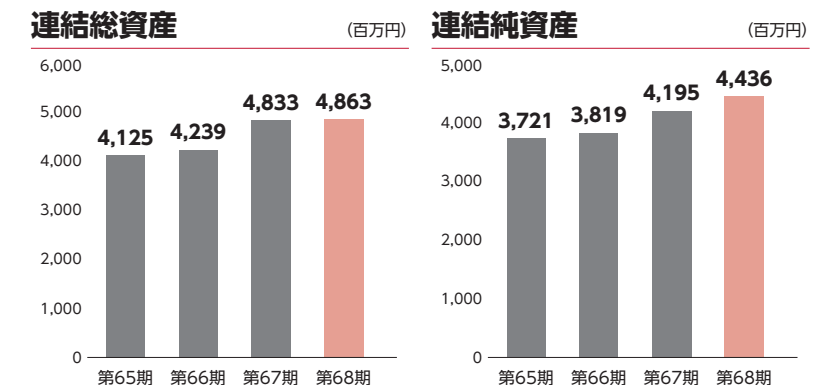
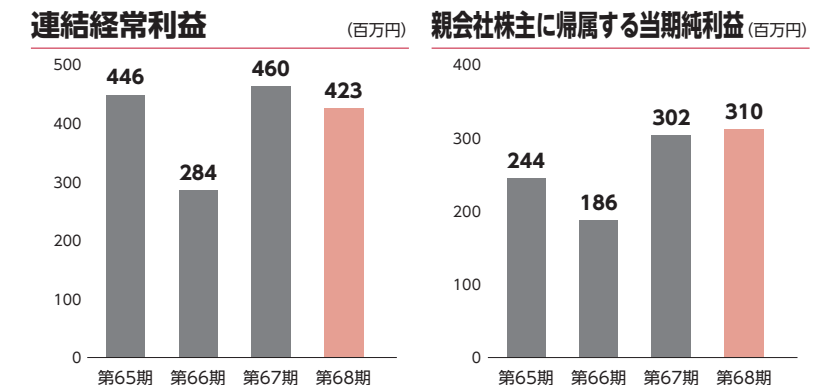
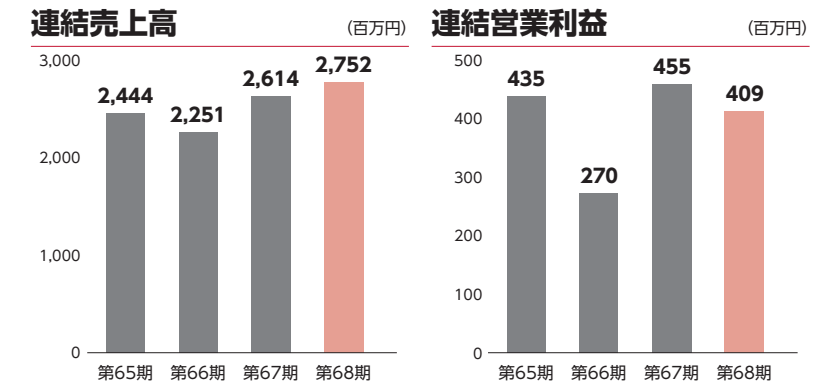
このような方針のもと、第68期の配当につきまし

**売上高**  
27億52百万円   
(前年同期比 5.3% 増)

**営業利益**  
4億9百万円   
(前年同期比 10.0% 減)

**経常利益**  
4億23百万円   
(前年同期比 8.2% 減)

**親会社株主に帰属する当期純利益**  
3億10百万円   
(前年同期比 2.6% 増)



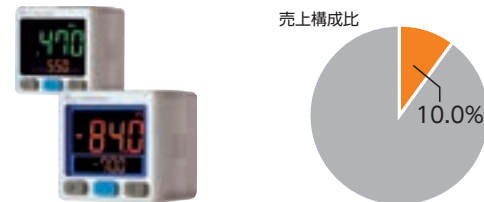


**コンバム** 売上高 8億5千7百万円



韓国および東南アジア市場にて、電子部品関連業界の需要の高まりを受け、半導体製造装置業界の需要が拡大し、連結売上高は857百万円となりました。全製品に占める売上高構成比は、FA機器その他の比率増により31.1%となり、前年同期比1.3ポイント低下しました。

**圧力センサ** 売上高 2億7千5百万円



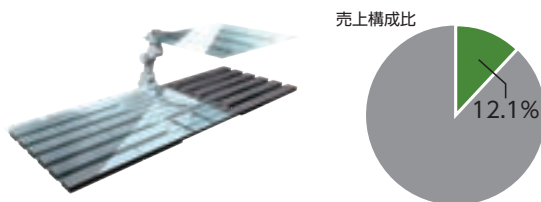
コンバム同様、電子部品関連業界の需要増加により、半導体製造装置向け需要が高まりました。当期の連結売上高は275百万円となりました。また、売上高構成比は10.0%となり、前年同期と同様となりました。

**吸着パッド** 売上高 12億8千6百万円



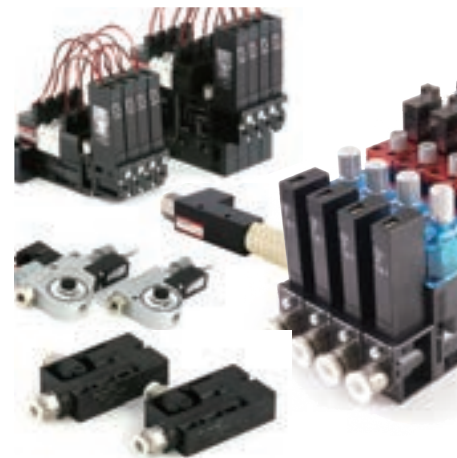
設備投資需要の増加により、全業界に対し、販売は堅調に推移いたしました。また、ロボット関連業界に対しての新製品を積極的に市場投入した結果、連結売上高は1,286百万円となりました。売上高構成比は46.8%となり、前年同期比3.0ポイント低下しました。

**FA機器その他** 売上高 3億3千2百万円



真空関連機器および真空ポンプ等の一般設備機器は、前期比で売上高は減少いたしました。しかし、フラットパネルディスプレイ関連業界向けの浮上搬送ユニットについては、アジア地域を中心に設備投資の需要がありました。その結果、連結売上高は332百万円となりました。売上高構成比は12.1%となり、前年同期比4.3ポイント上昇しました。

**CONVUM®**



CONVUM®は圧縮空気を利用して真空(負圧)を発生させる真空発生機器です。圧縮空気をノズルから放出(エジェクト)させることから「エジェクタ」又は「エジェクタポンプ」と呼ばれます。

**About CONVUM®**

CONVUM® **コンバム**とは**コン**プレッサからの圧縮空気で**バ**キューム(真空)を発生させることをイメージして創りだした造語です。CONVUM®は当社の登録商標です。

**SENSOR**



気体や液体の圧力の変化を内部の感圧素子にて測定し電気信号に変換、出力するものです。当社の圧力センサは空気圧を対象とし、吸着確認・着座確認・元圧管理などさまざまな用途に使用されています。

**PAD**

パッドはコンバム等の真空発生機器より得られる真空(負圧)を利用してワーク(吸着物)を吸着し、持ち上げる製品です。「パッド」の他、「バキュームパッド」「サクシオンパッド」「サクシオンカップ」「カップ」とも呼ばれています。パッドは人間で例えると「手」(または指)とも言えます。



**Non-contact**



圧縮空気を供給し、空気の性質を利用して、ワーク(搬送物、吸着物)を非接触(浮かして)の状態での搬送・吸着を行う機器。液晶ガラス、フィルム、電子基板などゴムパッドでは搬送できないワークの搬送に使用されます。

当社の製品は、FA（ファクトリーオートメーション）機器として、様々な業種の製造工程や装置に組み込まれご使用いただいています。



取付・プレス

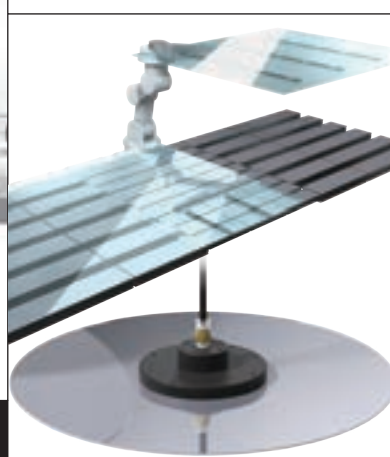


食品の吸着搬送



妙徳の製品や技術は様々な産業の生産現場で活躍。生産の自動化と品質の向上に貢献しています。

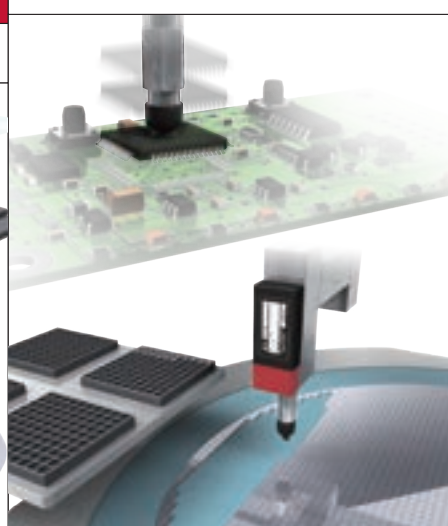
非接触搬送



梱包材の製函



ICチップの吸着搬送



## トピックス 展示会へ積極出展し、新製品を投入

当社は、昨年10月「2018 東京国際包装展」に出展いたしました。労働人口の減少を受けて、食品産業を始め、包装関連業界においても、産業用ロボット需要は世界的に高まっております。当社は、他社に無い製品として開発を行った「SGBシリーズ バルーンハンド」をロボットメーカーと協賛したデモ機で出展し、大きな注目を集めました。同製品は、当社の真空吸着ノウハウと新技術の融合により、これまで掴むことができなかったモノを掴むことを可能にしました。また、段ボールや鋼板等の重量物や凹凸にも吸着対応可能な「SGPシリーズ パレッチャー」も出展し、大きな反響を得ました。ロボットを活用した自動化には当社製品は欠かせない存在となりつつあります。今後は更にバリエーションを増やし、様々なロボットとアプリケーションに対応していきます。各ロボットメーカーや生産現場の完全自動化を目指す企業と積極的に協賛や技術提携も行っていきます。



2018 東京国際包装展 当社ブース

これまで掴めなかったワークを吸着できる新構造のハンド  
SGBシリーズ バルーンハンド



ジャガイモの吸着

吸着が困難な隙間のあるワークや位置が定まっていないワークを吸着対応可能なハンド  
SGPシリーズ パレッチャー





(2018年12月31日現在)

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第67期	第68期
	2017年12月31日現在	2018年12月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	2,460,867	2,664,264
固定資産	2,372,266	2,199,149
資産合計	4,833,133	4,863,413
<b>負債の部</b>		
流動負債	446,255	271,090
固定負債	191,054	155,917
負債合計	637,309	427,008
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,973,888	4,307,857
その他の包括利益累計額	200,501	103,389
新株予約権	4,606	2,077
非支配株主持分	16,827	23,080
純資産合計	4,195,824	4,436,405
負債及び純資産合計	4,833,133	4,863,413

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第67期	第68期
	2017年1月1日～ 2017年12月31日	2018年1月1日～ 2018年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	375,047	259,700
投資活動によるキャッシュ・フロー	△258,100	△182,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,586	22,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,765	△10,335
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	84,125	88,954
現金及び現金同等物の期首残高	1,039,127	1,123,253
現金及び現金同等物の期末残高	1,123,253	1,212,207

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第67期	第68期
	2017年1月1日～ 2017年12月31日	2018年1月1日～ 2018年12月31日
売上高	2,614,520	2,752,064
売上総利益	1,489,507	1,464,424
営業利益	455,081	409,580
経常利益	460,742	423,189
税金等調整前当期純利益	448,597	423,302
当期純利益	305,718	318,206
非支配株主に帰属する当期純利益	2,734	7,335
親会社株主に帰属する当期純利益	302,983	310,870

連結包括利益計算書

(単位：千円)

科目	第67期	第68期
	2017年1月1日～ 2017年12月31日	2018年1月1日～ 2018年12月31日
当期純利益	305,718	318,206
その他の包括利益：		
その他有価証券評価差額金	81,563	△68,838
為替換算調整勘定	32,982	△28,455
その他の包括利益合計	114,546	△97,294
包括利益	420,265	220,912
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	416,629	213,759
非支配株主に係る包括利益	3,635	7,153

会社概要

社名	株式会社 妙徳
創立（設立）	1951年4月16日
資本金	7億4,812万5千円
本社所在地	〒146-0092 東京都大田区下丸子2丁目6番18号 TEL：03-3759-1491（代表）
国内事業所	岩手、東京、大阪、名古屋、福岡
連結子会社	妙徳空覇陸機械設備(上海)有限公司 妙徳韓国株式会社 CONVUM (THAILAND) CO.,LTD. CONVUM USA,INC.
従業員数	142名（連結従業員数）
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場
会計監査人	東陽監査法人

役員の状況 (2019年3月22日現在)

代表取締役社長	伊勢 幸治
専務取締役	角野 充彦
常務取締役	庄瀬 元洋
取締役	佐藤 穰
取締役	泉 陽一
取締役	岩元 武継 *
取締役	平野 実 *
常勤監査役	小畑 光伸
監査役	松本 博之 *
監査役	川野上 一春 *

\*印は、それぞれ社外取締役、社外監査役です。

株式の情報

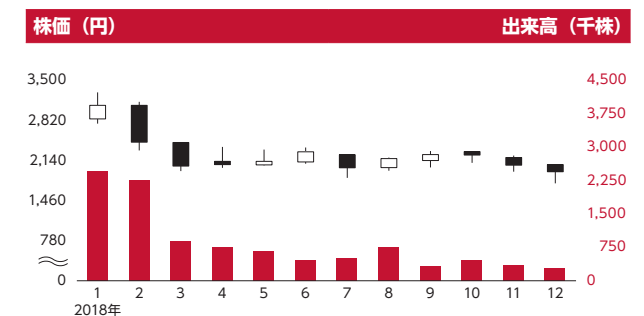
発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数
6,600,000株	1,657,000株 (その内自己株式 128,731株)	990名 (前期末比 161名減)

大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
伊勢興産株式会社	282,760	18.50
伊勢 すが子	126,020	8.25
伊勢 幸治	82,410	5.39
岡部 由枝	80,100	5.24
妙徳従業員持株会	47,750	3.12
MTAsia株式会社	36,000	2.36
株式会社光通信	32,600	2.13
神谷 信一	30,200	1.98
株式会社日伝	28,000	1.83
伊勢 三郎	25,325	1.66

(注) 1. 当社は自己株式を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は発行済株式総数から自己株式数を控除して計算しております。

株価チャート



\*株価、出来高は株式併合の影響を踏まえて換算しています。